

令和6年度ホタテガイ採苗情報（第7報）

令和6年5月23日

発行：岩手県水産技術センター

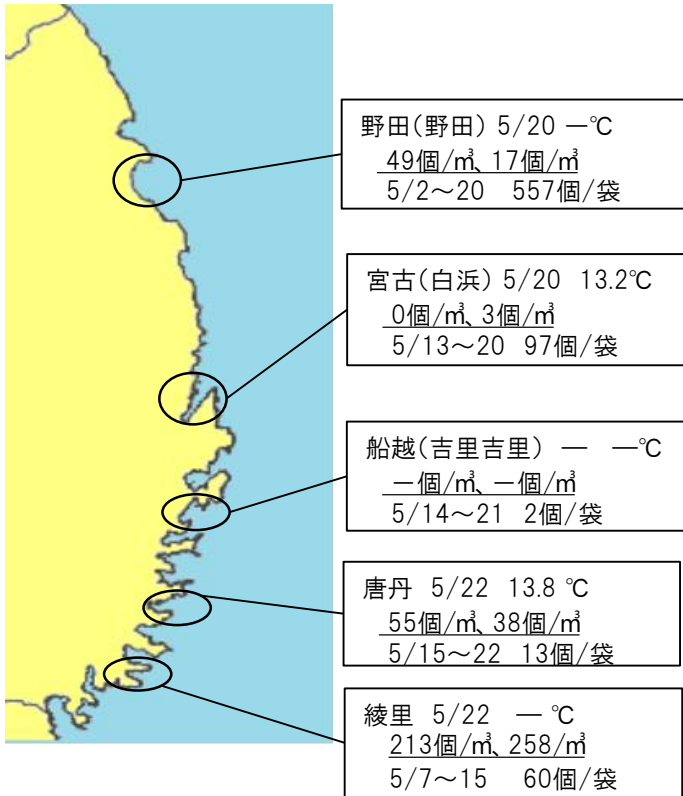
協力機関：広域振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



地域間でばらつきがありますが、ホタテガイの付着稚貝が出現しています。分散投入を続けてください。

< 調査結果の概要 >

- 5月22日の唐丹湾の10m深水温は13.8℃、透明度は9mでした。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが55個/m³（昨年同時期：159個/m³）、200μm以上の大型のラーバが38個/m³（同：12個/m³）出現しました。
- その他のラーバ出現数は、ムラサキイガイが16個/m³、キヌマトイガイが33個/m³、エゾシシカゲガイが22個/m³、その他が3個/m³でした。
- 地域間でばらつきはあるものの、広い範囲でホタテガイの付着稚貝が確認されています。
- ホタテガイの付着稚貝が継続して出現しています。適宜、採苗器の分散投入を続けてください。



調査点 調査日 水深10m層水温
ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、5月30日頃に
発行する予定です。

